



19浪建第 3/ 号  
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

浪江町長 横山 藏人



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

国道企第114号（平成19年4月2日付）依頼のあった意見について別紙  
のとおり提出いたします。

今後の道路政策や整備・管理についての意見

道路は地域づくりに最も需要である。そのためには必要な道路整備のため安定した財源が必要である。

道路には、それぞれの役割がある。高規格道路のネットワークの形成も大事だが、災害から住民を守るため、また歩行空間のバリアフリー化や交通安全上からも整備を進め、地域住民が明るい展望を持てるよう配慮することが必要である。

#### ① 重点化

当地方は、原子力発電所の立地地域で、首都圏への電力供給基地である。しかし当地方の道路の現況を見ると、高速交通体系のネットワーク化が未整備である。それよりも問題なのは、万が一、原子力発電所で事故が発生した場合の避難ルートの整備がお粗末過ぎる。事故が発生した時パニックを小さくするため、センターラインの引ける道路が、放射状に必要である。住民が安心して暮らせるよう早期の整備が求められている。

#### ② 効率化

地方は全国的に人口減少が続いている。当地方も同様で、特に山間部は過疎化の動きが早くなっている。一方都市部からのIターン現象も見られるが、集落を維持することが難しくなっている。これらの集落を維持するには、情報インフラ整備とともに道路の整備が鍵である。交通量が少なくても道路がなければ生活ができない。特に住民が病気や怪我をした場合の医療機関への搬送時間の短縮が最大の懸案事項である。そのためには、センターラインは引けなくても、要所要所で交差可能な1.5車線道路で整備すれば工事費削減となり効率的である。